

分析法凡例

GC (Gas Chromatograph)	: ガスクロマトグラフ
HPLC (High Performance Liquid Chromatograph)	: 高速液体クロマトグラフ
ECD (Electron Capture Detector)	: 電子捕獲型検出器
FID (Flame Ionization Detector)	: 水素炎イオン化検出器
MS (Mass Spectrometer)	: 質量分析計
UV (Ultra Violet detector)	: 紫外吸光度検出器
ICP-AES (Induced Coupled Plasma Atomic Emission Spectroscopy)	: 誘導結合プラズマ発光分析方法
ICP-MS (Induced Coupled Plasma Mass Spectrometry)	: 誘導結合プラズマ質量分析方法
GFAAS (Graphite Furnace Atomic Absorption Spectrometry)	: グラファイトファーンズ原子吸光分析方法

(※)濃度基準値が定まっていない場合には、ACGIH等で設定されているOELのうち最小のものを利用して検討を行う。濃度基準値が定まり、当該濃度基準値が検討に用いたOELと異なる場合には採用された測定法が当該濃度基準値に対しても適用可能か検証する。

No.	CAS RN	物質名称 黄色：分析方法がGC オレンジ：分析方法がHPLC 緑：分析方法がAAS 青：分析方法がICP-AES又はICP-MS 塗りつぶし無し：分析方法が位相差顕微鏡	①測定範囲 濃度基準値(※) の1/10及び2倍 が測定範囲に 入っていれば ○、不明確なら ば△、データな しならばND	②抽出/脱着率 または回収率 値が75%以上な らば○ 75%未満ならば △ データなしなら ばND	③保存安定性 値が90%以上な らば○ 90%未満ならば △ 50%程度ならば ×データなしな らばND	④破過 ○は濃度基準値 (※)の2倍で破過 の可能性なし △は濃度基準値 (※)の2倍で破過 の可能性あり データがなけれ ばND	測定方法	捕集法	溶解法	分析法	測定法の総合評価 ○:OK(備考ありを含む) △:要確認(備考参照) P:検証や他の方法の探索が必要	総合評価の実用上の判断 ○ or P (○物質のみ表示)	備考
11	75-64-9	ターシャリ-ブチルアミン	○	○	○	○	固体捕集-HPLC	シリカゲル 35-70 Mesh 0.5～1L/min 120 min	m-トルオイルクロリド含 有アセトニトリル溶液5～ 10mL+5M NaOH or 5M KOH 0.2 mL	HPLC/UV	○	○	
13	75-91-2	tert-ブチル=ヒドロペルオキシド	△	○	○	○	固体捕集－GC	シリカゲル管 (520/260 mg) 0.05-0.2 L/min 480 min	メタノール 1ml	GC/FID	△	○	・ ACGIHのTLV-TWA 0.1 ppmの1/2であ れば、0.6 L/minで8時間捕集すること で定量可能である。 ・ 流量を上げるときは、捕集剤の前 段と後段をそれぞれ定量して破過を 確認する。
111	7803-62-5	シラン	○	○	○	○	固体（反応）- GFAAS	10%NaOH添着合成樹脂活性 炭 200 mg 0.1 L/min 60 min	純水(温浴80℃) 4 mL	GF/AAS	○	○	・ 合成樹脂活性炭にケイ素がないこ とを確認して使用する。 ・ 操作の際にガラス容器を使用しな い。 ・ 添着活性炭は販売されておらず、 特注品となる。
以下令和４～6年度の検討対象物質													
R6_3	57-24-9	ストリキニーネ	○	○	○	－	ろ過捕集-HPLC	グラスファイバーフィルター 1-3 L/min 200 min	HPLCの溶離液（ヘプタン スルホン酸/アセトニトリ ル, pH=3.5) 5 mL	HPLC/UV	○	○	・ 固体であるため、破過については考 慮不要。
R4_5	74-87-3	クロロメタン	○	－	○	○	直接捕集－GC	テドラーバッグ 5L 0.1 L/min 30 min	直接注入 1mL(バックドカラムの場 合)	GC/MS	○	○	・ 直接捕集のため、回収率については 考慮不要。
R4_90	409-21-2	炭化けい素（ウィスカー）	○	－	－	－	ろ過捕集一位相差顕 微鏡	MCEフィルター（カセット 付） 1 L/min 480 min	－	位相差顕微鏡	○	○	・ 繊維数が多すぎると重なってしまう ため、負の誤差になる。 ・ 捕集したフィルターをそのまま位 相差顕微鏡で観察するため回収率に ついては考慮不要。 ・ 安定な繊維状物質であるため、保 存安定性と破過については考慮不要。
R6_144	8001-35-2	塩素化カンフェン	○	○	×	－	ろ過捕集-GC	MCEフィル ター(カセット付) 0.2 ～1.0 L/min 75 min	石油エーテル 10 mL	GC/ECD	△	○	・ 固体であるが僅かな蒸気圧があるた め、バックアップパッドも分析する。 ・ I F V 評価値＝0.013のため、IFV非 該当。 ・ 捕集後、できるだけ早くに分析す る。 ・ 固体であるため、破過については考 慮不要。